

三代委員長  
浜田 雪江氏



たが、管内の「駅シリーズ」にし、昔の旧駅と現在の駅とを対照させ、うまく利用することが出来ました。

「法人会ニュース」の広報誌名も変えようと種々考え「希望」など候補を15個ぐらい挙げましたが最終的に多数決で、未来に託していくことにより「みらい」としたことが印象深く、皆様の反響も良く安心しました。

ただ、やはり会員さんの投稿が少なく記事に苦労しました。

飯田

サイズをA4に大きくしてみたら見やすくなったとの反響が多く、良かったと思います。これは、自分が読むときに字が小さく見づらかったので、少しでも字を大きくみやすくしようと思ったのがきっかけでした。

また、会員の顔やカメラリポートなど、会員を主力対象としたことにより、更に会員と身近に感じていただいていますし、カラー化も、それが当たり前のように思われていて、あまり反響はありませんでしたが、評判は良いようです。

長根

記事の内容など個々に対しての反響はどうでしたでしょうか。

齋藤

私は自分で写真を撮っていて、ほめられたことは一度しかありませんでした。

浜田

皆さん仕事をしたうえで、わざわざ記事を書いていただいています。プロではないので苦労されたと思います。それは現在も同様ですね。

飯田

広報誌だけではなく、税を知る週間キャラバンカーによるキャンペーンの車に使用したイラストで著作権が

絡むなどの理由で作り直したりしたことがあります。今ではその苦労も良い思い出です。

浜田

私はプロが作成したのではない、手作りの味がよいと思っています。

長根

これからの広報誌「みらい」に望むものはありますか。

部会単位や委員会単位だけでなく、もっと横のつながりが持てるように役立てていただきたいと思えます。会員と唯一接点があるのが広報誌ですので、法人会をアピールし有益な情報伝達としてください。

浜田

今後も広報委員会の手作り感覚を大切にしていきたいと思えます。また、結果報告だけではなく、提案のある記事を望みます。

経営者にプラスになるような記事を多くするのも良いと思えます。

飯田

新入会員などの企業紹介などに力を入れていきたいと思えます。また、現在は各区役所などに「みらい」を置いてもらっているのですが、法人会の活動をもっと知ってもらえるように広報活動の努力が必要だと思います。

未加入の法人にも「みらい」をもっと活用し、会員増強の資料としての利用もお願いします。

長根

本日は、お話を聞かせていただきましてどうもありがとうございました。よりよい広報誌づくりに、これからもご協力をお願いいたします。



二・四代(現)委員長 飯田 靖夫氏